

介護過程

問題 106 介護過程を展開する目的として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 業務効率を優先する。
- 2 医師と連携する。
- 3 ケアプランを作成する。
- 4 画一的な介護を実現する。
- 5 根拠のある介護を実践する。

問題 107 次のうち、介護過程を展開した結果を評価する項目として、最も優先すべきものを 1 つ選びなさい。

- 1 実施に要した日数
- 2 情報収集に要した時間
- 3 評価に要した時間
- 4 介護福祉職チームの満足度
- 5 短期目標の達成度

問題 108 次の記述のうち、居宅サービス計画と訪問介護計画の関係として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 訪問介護計画を根拠に、居宅サービス計画を作成する。
- 2 居宅サービス計画の目標が変更されても、訪問介護計画は見直しをせず継続する。
- 3 居宅サービス計画と同じ内容を、訪問介護計画に転記する。
- 4 居宅サービス計画の方針に沿って、訪問介護計画を作成する。
- 5 訪問介護計画の終了後に、居宅サービス計画を作成する。

次の事例を読んで、問題109、問題110について答えなさい。

[事例]

Lさん(76歳、女性、要介護1)は、自宅で娘と暮らしている。軽度の認知症(dementia)と診断されたが、身体機能に問題はなく、友人との外出を楽しんでいる。ある日、外食の後、自宅近くで保護されたとき、「ここはどこなの」と言った。その後、自宅から出ようとしなくなった。心配した娘が本人と相談して、小規模多機能型居宅介護を利用することになった。

利用開始時に、Lさんの短期目標を、「外出を楽しめる」と設定した。2週間が過ぎた頃、Lさんから、近くのスーパーへの買い物ツアーに参加したいと申し出があった。

当日、他の利用者や介護福祉職と笑顔で買い物をする様子が見られた。買い物が終わり、歩いて戻り始めると、笑顔が消え、急に立ち止まった。

介護福祉職が声をかけると、「ここはどこなの。どこに行くの」と不安そうに言った。

問題 109 Lさんが急に立ち止まった行動の解釈として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 買い物ツア一時間の延長の要求
- 2 自分のいる場所がわからない不安
- 3 休憩したいという訴え
- 4 店での介護福祉職の支援に対する不満
- 5 一人で帰りたいという訴え

問題 110 Lさんの状況から、短期目標と支援内容を見直すためのカンファレンス (conference)が開かれた。

担当する介護福祉職の提案として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 外出先から帰れなくなる不安への対応が必要である。
- 2 表情がかたくなったときは帰り道を変更する。
- 3 外出する意欲を持つ必要がある。
- 4 歩くために身体機能の改善が必要である。
- 5 事業所をなじみの生活空間にする。

次の事例を読んで、問題111、問題112について答えなさい。

[事例]

Mさん(35歳、男性、障害支援区分5)は、^{のうせいまひ}脳性麻痺(cerebral palsy)^{ししまひ}による四肢麻痺で筋緊張がある。日常生活動作は全般に介護が必要であり、電動車いすを使用している。これまで、本人と母親(70歳)の希望で、自宅で二人暮らしを続けてきた。

Mさんは3年前から、重度訪問介護を利用している。軽度の知的障害があるが、自分の意思を介護者と母親に伝えることができる。相談支援専門員が作成したサービス等利用計画の総合目標は、「やりたいことに挑戦し、生活を充実させる」となっている。Mさん自身も、やりたいことを見つけたいと介護福祉職に話していたことから、次の個別支援会議で検討する予定になっていた。

ある日、重度訪問介護の利用時、パラリンピックのテレビ中継を見ていたMさんが、介護福祉職に、「ボール投げるの、おもしろそう」と話した。

問題 111 次のうち、Mさんの発言から、個別支援計画を立案するために、介護福祉職が把握すべき情報として、最も優先すべきものを1つ選びなさい。

- 1 競技で使われるボールの種類
- 2 話を聞いた介護福祉職の感想
- 3 競技に対するMさんの意向
- 4 母親のパラリンピックへの関心
- 5 テレビ中継を見ていた時間

問題 112 いくつかのスポーツクラブを見学後、介護福祉職はMさんから、「このスポーツクラブが近いから、入会前に体験したい」と伝えられた。

Mさんへの介護福祉職の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 筋緊張から回復する訓練を行うように伝える。
- 2 母親が決めたスポーツクラブを選ぶように勧める。
- 3 スポーツクラブにすぐに入会するように勧める。
- 4 意思決定に必要な情報を提供する。
- 5 相談支援専門員の許可を得るように勧める。

問題 113 介護福祉職が事例研究を行う目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事業所の介護の理念の確認
- 2 介護福祉職の能力を調べること
- 3 介護過程から介護実践を振り返ること
- 4 介護報酬の獲得
- 5 介護福祉職自身の満足度の充足